10月号 2017 (平成29) 年 10月 3日発行

## なかまと協力 ハイテンション せがさきっ子

学校長 梅田 比奈子

スポーツフェスティバルが終わりました。子どもたちが主人公となり、自分たちの手で作り上げた「瀬小スポーツフェスティバル」。 真剣な表情で行った競技、楽しそうに踊っていた演技、そして、協力して競ったなかま種目。どれも本当に一生懸命でした。そして、6年生と5年生は、係の活動でスポフェスを支えてくれました。

子どもたちの当日の姿は、今までの練習の積み重ねです。その中で、子どもたちは、自分のすべきことを考え、たくさん人とかかわり、意識を高めてきました。また、2年生と1年生、4年生と3年生、6年生と5年生の演技や競技でのかかわりは、子どもたちの豊かな成長につながっていったと思います。練習中1年生が踊れているか、心配そうに見守る2年生がいました。自分たちの考えた演技をていねいに3年生に教える4年生がいました。そして、全体に向けて話した「こんな演技したい」という思いに向かって、とことん5年生にかかわる6年生がいました。そして、



1・3・5年生は、そうした上級生の思いに応えようと、一生懸命に練習していました。瀬小のスポフェス前の休み時間や放課後は、自分たちで自主的に練習する姿があちこちで見られます。これは、どこの学校でも見られる姿ではなく、瀬小だからこその素晴らしさのひとつです。そうした一人ひとりの気持ちと練習が集まったのが、スポフェス当日でした。

スポフェス当日は、演技、競技だけでなく、素敵な場面にたくさん出会えました。キビキビと動き、様々な仕事に取り組む高学年。自分の思った成果がだせなかった仲間によりそう姿。また、なかま種目では、遅



れていた色をほかの色が全員で、一生懸命応援していました。「なかまと協力 ハイテンション せがさきっ子」このテーマのように、協力し、熱くなった子どもたち。その子どもたちの姿に胸を熱くしたのは、わたしだけではないと思います。

スポフェスを支えて下さったスポーツ推進委員、青少年指導員、 学援隊、地域交流室の皆様、PTA 役員の皆様をはじめとして、ボラ ンティアとして活動してくださった方、地域、保護者の皆様に心よ り感謝申し上げます。

10月10日からは、後期が始まります。次の学年に向かっていく後期。学習も様々な活動も充実させ、瀬ケ崎っ子一人ひとりが「安心して」「豊かに」学校生活を送れるように頑張っていきたいと思います。